

ゴリラになる

彼女は

スカートを

履かない

作・坂本鈴

【概要】

「現代日本の世界」と、「女性が成長するとゴリラになる世界」の人物が転移してしまう二人芝居。

北川ひかると澤田ゆうきは同じ高校のサッカー部で、付き合っている。朝練の後、体育倉庫で8時5分にキスをしたら、片方が、「違う世界で生きていた自分」と入れ替わり、世界転移してしまう。

【スカート編】では「現代日本」の女子高校生の北川ひかると、「女性が成長するとゴリラになる世界」の男子高校生の澤田ゆうきが対峙する。二人とも制服のスカートを履いている。

【ズボン編】では「現代日本」の男子高校生の澤田ゆうきと、「女性が成長するとゴリラになる世界」の女子高校生の北川ひかるが対峙する。二人とも制服のズボンを履いている。

【登場人物】

北川ひかる 高校2年生

澤田ゆうき 高校1年生

〔スカート編〕

女子高生の制服の女性の俳優が、前説をはじめる。

女性俳優 本日はご来場いただきまして誠にありがとうございます。

開演に先立ちまして、これから始まるお芝居について、説明をさせてください。
まず、女子高生です。はい。女子高生です。

サッカー部のマネージャーです。

同じサッカー部の後輩の男の子と、つきあっています。

で、昨日ちょっと色々あつて、今日の朝、朝練の後に、体育倉庫ではじめて、キスをしたんですね。はい。

女子高生姿の男性俳優が登場。

女性俳優は北川ひかる、男性俳優は澤田ゆうきとなる。

そして、目を開けたら、彼氏が、スカート姿に、なつていて、…え??

ゆうき …えっと…（観客に）あ、男子高校生です。

サッカー部です。で、いま、付き合ってる先輩がいるんですけど、今日の朝、そのひとつ、朝練の後に、体育倉庫でキスをしたんですね。

そしたら、彼女が、スカート姿になつていて、

北川・ゆうき …え??

北川 いや、私がスカートなのは、普通じゃないですか。

ゆうき 彼女が言うには、女子がスカート履くのは普通らしいんですよ。

北川 でも彼が言うには、男子がスカート履くのは普通らしいんですよね。

二人 は？

ゆうき いや、ちょっと意味がわからないんですけど、話をきくに、僕が今まで生きてきた世界と、彼女が今まで生きてきた世界が、ちがうっぽいんですよね？

北川

それで、彼が言うには、私たちはもともと別の世界にいて、それぞれの世界でカツプルとして存在していたんじゃないかっていうんですよ。

ゆうき

思うに、別の世界で存在していたカツプルが、今朝偶然、朝練あとの体育倉庫で午前8時5分にキスをして、それをきっかけに入れ替わってしまった。ということなんじやないかとおもうんです。

北川

いやいやいや、

いやいやいや、

仮説として、

北川

いやいやいや、

でもだつて一瞬じゃないですか。一瞬で先輩がスカートになつて髪も伸びるって、おかしいんですよ。

北川

それはこっちのセリフだけどね。

そうですよね。そうなんですよね。だから、お互におかしなことが起こっていると、いうことを踏まえての、仮説です。

北川

…もつかい確認していい??

ゆうき

はい。

北川

澤田ゆうき1年。（ゆうきを示して）

北川

ゆうき 澤田ゆうき1年。（自分を示して）

北川

ゆうき 北川ひかる2年。（自分を示して）

北川

ゆうき 北川ひかる2年。（ひかるを示して）

北川

ゆうき サッカー部。

北川

ゆうき つきあつてる。

北川

ゆうき （ここまであつてる）うん。

北川

ゆうき （あつてる）うん。

北川

ゆうき （ここからだ）で、ゆうきの、今まで生きてきた世界としては、男子の制服は、

北川

ゆうき スカートです。

北川

ゆうき …スカート。で、女子の制服は、

北川

ゆうき ズボンです。

北川

ゆうき …ズボン、で、女子は、成長すると、

北川

ゆうき ゴリラになります。（頭を抱えて）えーーーーー。

ならないんですね。

北川 ならないよ。え、…ならないよ。

北川 不思議。

北川 だからこつちのセリフだからね。不思議だから。ゴリラになる方が。ゴリラ…、え、
え。ゴリラってなに？？

6

北川 ゆうき

北川 いやなんか、どういう状態？

6

北川 ゆうき

北川 ゆうき 状態？

北川 ゆうき けむくじやら？

北川 ゆうき まあ。

北川 ゆうき 嘸れるの？

北川 ゆうき もちろんもちろん。

北川 ゆうき 服は着る？

北川 ゆうき 当り前じゃないですか。

北川 ゆうき うーん。

北川 ゆうき (ホツとして) そうなんだ。高校生はまだゴリラには

北川 ゆうき なります。

北川 ゆうき はい。丁度、高校生くらいからゴリラ化して、卒業するころにはだいたいみんなゴリラです。

北川 ゆうき みんなゴリラ。

北川 ゆうき 男はゴリラには

北川 ゆうき なりません。

北川 ゆうき …うん。あの、…え、なんで?? なんで女だけゴリラになるの?

北川 ゆうき えー、……まあ、出産に、耐えられるように、とか?

何そのふわふわした回答。

北川 ゆうき いや、そんなのよく知らないですよ。だって、…ゴリラにならないんですよね。
だからならないって。

北川 ゆうき で、成長すると、女より男のほうが大きくなるんですよね。

北川 ゆうき そうだけど。

どうしてですか。

北川 ゆうき え。…えっと、それは、あれだよ。…男は、狩りをするから、とか?

ふわふわしてるじゃないですか！

北川

いやいや、でもさ、普通さ、普通オスのほうが大きいじゃん？？自然界って大体そういうでしょ。

ゆうき

そんなことないですよ。ハイエナとかフクロウとかチヨウチンアンコウとかは、メスのほうが大きいですしこそ。

北川

そうなの？

北川

そうです。
へー。（調べたい。）…ちょっとさ、携帯とつてきていい？

北川

ゆうき
え？
教室置いてきちゃって。すぐ戻るから。（行こうとする）

北川

ゆうき
ちょ、ダメですダメです。

北川

え。

北川

ゆうき
そんな恰好で
え。（理解して）え、あ、ここ、ゴリラの世界ってこと？

北川

ゆうき
や、わかんないですけど。どっちかわかんないですけど、でも可能性としては、はい。

北川

ゴリラの世界の場合はさ、女子がこの格好してるのは、あれなんだよね。ちょっと、

北川

ゆうき
そうですね。誰かに見られたら結構だいぶ、先輩の学校生活がだいぶ、だいぶ、で

す。

北川

ああ…。
ゆうき
だって、多分僕もそうですよね。ゴリラにならない世界でこの格好だと。

北川

ゆうき
そう、だね。だいぶ、びっくりされる、かな。

北川

ゆうき
ですよね。

北川

ゆうき
まあ一応校則的には、大丈夫みたいなんだけど、

北川

ゆうき
え、そうなんですか。

北川

校則的には。でもさ、女子でスラックスの子は結構いるんだけど、男子でスカートは、ゼロだから。

北川

ゆうき
それは僕のところもそうで、

北川

ゆうき
男子はスカートもズボンも履くんんですけど、女子は、ズボン一択っていう。

北川

あー、
なんでなんですかね。

北川

ゆうき
ねえ。

北川

まあでも結局そつちの世界でも、僕がスカート履いてるのは、まずいつてことです

よね。

北川

まあそうだね。

北川

ゆうき
で、今いる世界がどつちの世界かは分からない、わけですよね。

北川 そうだね。

北川 つまり、出られないんですよ。僕たちは。
まじか。

北川 ゆうき
はい。

北川 ゆうき
やばいじやん。

北川 ゆうき
やばいんですよ。

北川 ゆうき
どうしよう。

北川 ゆうき
まあ、とにかく、どうにか元に戻る方法を試すしかないんじゃないですか。

北川 ゆうき
元に戻る方法って？

北川 ゆうき
それはちょっとわかんないですけど。

北川 ゆうき
おー。

北川 ゆうき
そもそも仮説に無理がありますしね。

北川 ゆうき
自分で言つといて。

北川 ゆうき
そうですけど、

北川 ゆうき
うーん、でもさ、わかんないけど、もしキスして入れ替わったんだとしたらさ、も
つかいキスしたら元に戻るんじゃないの。

北川 ゆうき
あ、なんかいま、すごい、先輩っぽい。

北川 ゆうき
え。

北川 ゆうき
この、すごい、シンプルな感じ。

北川 ゆうき
バカにしてる？

北川 ゆうき
してないですよ。

北川 ゆうき
…まあいいや。え、じゃあ試してみる？

北川 ゆうき
え。

北川 ゆうき
だから、キス。

北川 ゆうき
あー。はい。。

北川 ゆうき
うん。

北川 ゆうき
じゃあ、はい。

二人、向き合う。

お互いに、相手がくるのを待っている。

ゆうき
どうぞ。

北川 ︰あ、これわたしがいくやつ？

北川 ゆうき
え、あ、ちがうんですか。

北川 ゆうき
いや、こっちの世界だと、どっちかっていうと男性が、こう、

北川 ゆうき
あー。

北川 （そつちの世界だと）逆、かな？

ゆうき そうですね。どつちかっていうと、女性が、

北川 あー。

ゆうき どうしましようか。

北川 じょんけんでどう？

ゆうき わかりました。

じょんけんする。ゆうきが勝つ。

北川 どうぞ。

ゆうき これ、勝った方から？

北川 うん。おねがいします。

ゆうき まあ、はい。じやあ、どうぞ。（座らせようとする）

北川 あ、すわるの。

ゆうき はい。

北川、椅子に座る。

ゆうき 目、つぶつてもらつて。

北川 はい。

ゆうき じやあ、いきます。

ゆうき、キスしようとする。

北川よける。

北川 まつてまつて

ゆうき え。

北川 なんかやだ。

ゆうき あ、いやでした？

北川 うん。なんか、待ってる間がなんか、嫌だ。

ゆうき あ、すみません、なんか、あの、さつき先輩からこう、されたので、私がそうしたの？さつき？？

ゆうき はい。「どうぞ」「目つぶつて」「じやあいきます」つて。

北川 えー、まさかー。なんか、嫌じゃなかつた？

ゆうき そうですね。なんかちょっと、ぞわつとしました。

北川 そうだよね。

ゆうき そうですね。

北川 なんかもう少し、うまくやつてほしい。スマートにしてほしい。

ゆうき そうなんですよ。

北川 あの、そつちはどんな感じだつたんですか。

北川 うちはなんか、…ちょっと、こつちきて

ゆうき はい。

北川、ゆうきを壁側に誘導し、壁ドンする。

北川 こういうやつ。

北川 壁ドン。

北川 壁ドンはあるんだ。

北川 流行りました。ちょっとまえに。

北川 それはやつぱり、ゴリラが、こう？

北川 ゆうき はい。やっぱりちょっと強引で女らしいみたいなところが、流行つたつて感じなんで。

北川 女らしい…

北川 ゆうき 僕はそんなにそういうの、好きじゃないんですけどね。あれ、でもそつちの僕はそういう感じなんですか。

北川 ゆうき あ、強引なみたいなこと？

北川 ゆうき はい。

北川 ゆうき いやいや、ゆうきはね、もう全然、むしろ逆で、わりとなよなよつとした優しい感じ。

北川 ゆうき え、なのに壁ドン？からのキス？

北川 ゆうき あー、それは、ちょっと、わたしがちょっと。

北川 ゆうき え。

北川 ゆうき わたしが昨日、ちょっと言い過ぎちゃつて

北川 ゆうき 何をですか。

北川 ゆうき いや、いつもなよなよつとして、受け身な感じだからさ、もうちょっとリードしてよつていうか、たまには男氣をみせてよ、みたいな、ことを言いまして。

北川 ゆうき だから、頑張つてくれたんだと思う。

北川 ゆうき 女気みたいなやつですかね。

北川 ん？

北川 ゆうき 男氣。あ、男氣つてコトバはないので。

北川 ないんだ。

北川 ゆうき はい。

ちなんに女氣つていうのは

北川 ゆうき なんか、覚悟がある、とか決断できる、とか勇気がある、頼れるみたいな。
北川 ゆうき 男気だね。それ。

北川 ゆうき そうなんですね。

北川 ゆうき うん。

北川 ゆうき で、その男氣あるキスは、どうだつたんですか。

北川 ゆうき どうつて

北川 ゆうき よかつたんですか

北川 ゆうき まあ、まあ、、、

北川 ゆうき じゃあちよつと、こつちで

場所を交代する

ゆうき いきますね。

ゆうき、壁ドン。

北川 まつてまつて、え、なに
ゆうき よかつたなら、こつちで試したほうがいいかなつておもいまして
北川 いやいや、

北川 ゆうき いきますね

北川 ゆうき まつてつて！！

北川、逃げる。

北川 まじで。まじでまつて。

北川 ゆうき あれ、そんなに？

北川 ゆうき あー、

北川 ゆうき え、大丈夫ですか

北川 ゆうき いいや、ごめんごめん

北川 ゆうき どうしたんですか

北川 ゆうき あの、全然大したことじゃないんだけどさ、その、今朝、痴漢にあつてさ、電車で。

北川 ゆうき え 痴漢はそんな、別に、まあよくあるんだけどさ、くしくもその痴漢の態勢が、まさ

かのやや壁ドンで、からの、ゆうきの壁ドンだったからさ、ちょっとなんかさ、

あの、
いや、ごめんね、私から提案しておいて。でもね、大丈夫。急じやなかつたら、大

丈夫だから。

あの、ちかんつて男がさわってくるってことですか
え、うん。

北川 ゆうき 人間なのに？

北川 ゆうき え

いや、その、僕もよく、電車でさわられたりするんですけど、ゴリラのおばさんに。
ゴリラのおばさんがさわってくるの。

北川 ゆうき はい。

北川 ゆうき やばくない？

北川 ゆうき いや、でもおばさんはゴリラなんで。
？うん。

北川 ゆうき ゴリラは人間より性欲が強いんで、
うん？？

北川 ゆうき 勿論キモイし嫌ですけど、なんかちよっと、仕方ないじやないです。
でも男がさ
わってくるってやばくないです。人間なんですよね。
そうだけど、いや、でもゴリラが痴漢してくるのもやばいって。

北川 ゆうき ゴリラはだつて、仕方ないじやないです。ゴリラなんだから。

北川 ゆうき しかたなくない、仕方なくないよ。ゴリラだつて、え、ごりらつてさ、ゴリラつて
何？

北川 ゆうき なにって

北川 ゆうき どういう状態？

北川 ゆうき だから、
北川 ゆうき だから、

北川 ゆうき だから、服を着て、しゃべって、学校にも通う、んだよね。

北川 ゆうき 仕事をしたり、結婚したり、も、できる。
ゆうき もちろん。

北川 ゆうき 人間じやん。

北川 ゆうき まあ。

北川 ゆうき なのに、性欲だけ我慢できないとかおかしくない？ていうかそもそも、性欲が強い
からって、さわっても仕方ないってことにはならないじやん。

ゆうき ……そう、ですよね？

北川 そうだよ。大体そんな、性欲がコントロールできないくらい、本能が強くて理性が
弱い生物だつてんならさ、人間と暮らすべきじやないじやん。檻にでも入つてろつ

て感じじやん。

ゆうき たしかに。たしかにたしかに。

北川 でしょ。

ゆうき はい。あ、いやでも、もちろんそんなことしてくるのは、ゴリラの中の、ほんと一部のゴリラたちで、ほとんどのゴリラは全然そんなことないんですよ。

北川 でもゆうきからしたらさ、どれがその一部のゴリラかわかんないわけでしょ。

ゆうき まあそうですね。

北川 だから基本ゴリラは全員警戒しなきやいけないわけでしょ。

ゆうき そうですそうです。

北川 なのに全員を犯罪者予備軍扱いするなみたいにいつてきてさ、

ゆうき そうなんですよ

北川 しかも自分の属性から痴漢とかするやつが出てきたら、男はそういう生き物だから、とか、男の本能とかいうの、ほんとなんなの。

ゆうき ん?

北川 檻にでも入つてろよ。

ゆうき ……。

北川 ゆうき つて、おもいました。わたしも。

ゆうき なるほど。わかります。

北川 よかつた。

北川 ゆうき 僕もよかつたです。先輩とこういう風に話せて。

北川 ゆうき いや、先輩は先輩じゃないんですけど、なんか、あれなんですよ、一回先輩に話した

ことがあつたんですけど、その、触られたりしたことを。

北川 うん

北川 ゆうき で、凄く怒つて、凄く心配してくれたんですけど、でも、スカートの丈もう少し長くした方がいいんじゃないかつて言つてきて、

北川 は、なにそれ

北川 ゆうき なにそれ、ですよね。いや、心配してくれるのはわかるんですけど、

北川 まじ最低じやん。つて、わたしか、わたしがいつたのか

北川 ゆうき いや、厳密にはちがうんですけど、

北川 ゆうき そうなんだけど、え、むかつくな。なんか、かわりにあやまるわ。ごめん。

北川 ゆうき …これ、いいですね。

北川 そう?

北川 ゆうき なんか、ぼくも、かわりに謝りますよ。なんか、ないですか、謝つてほしいこと。

北川 えー。なんだろ。

北川 なよなよしてて、男らしくなくて、すみません。

北川 いや、それは、やつぱりいいや。

ゆうき そうですか。

北川 うん。

チャイム

ゆうき えっと、どうしましようか。

北川 あのさ、わたしがしていい?キス。

ゆうき え。

北川 うまくできないかもしれないけど。

ゆうき あ、じゃあ、僕もします。

北川 え。

ゆうき あ、じゃあ一緒に、しましよう。

北川 うん。

二人、近づく。

北川 どうしよ。じゃあ、せーの、でいこうか。

ゆうき あ、はい。

北川・ゆうき せーの、

幕。

【ズボン編】

ズボン姿の澤田ゆうきと北川ひかるが向き合っている。

澤田 もつかい確認していいですか

ひかる うん。

澤田 北川ひかる、2年

ひかる 北川ひかる、2年

澤田 澤田ゆうき、1年

ひかる 澤田ゆうき、1年、

澤田 つきあつてる

ひかる つきあつてる

二人 うん

澤田 で、先輩の、今まで生きてきた世界としては、女子の制服は、

ひかる ズボン

澤田 ズボン。で、男子の制服は、

ひかる スカート

澤田 スカート、で、女子は、成長すると、

ひかる ゴリラになる。

澤田、こらえるが、こらえきれず爆笑

ひかる おい、なにがおかしいんだよ。

澤田 いや、すみません、ゴリラつてちょっと、パワーワードすぎて。

ひかる は、

澤田 いやいや、だつて、それが本当なら、え、先輩はこれからゴリラになるってことじやないですか。

ひかる そうだけど

澤田 …いや、だつてそれ、え、ほんとなんすか。

ひかる そうだつていつてんじやん。…え、なに。

澤田 えー、いや、あの、嫌じやないんですか。ゴリラですよね。

ひかる いやじやないけど、全然。なんで。

澤田 なんでつて、なんか、可愛くなくなっちゃう、みたいな

ひかる ……あのさ、私ちょっと、女なのに可愛いとか言われるの結構、嫌なんだけど

澤田 あ、すみません。

ひかる そりや、背は低いけどさ、でも女だし。

澤田 はい。

ひかる ゆうきはさ、そういうの言わないところが、すごく、いいなっていうところだったからさ、なんか、そういうこと言うんだ、みたいな。

澤田 すみません。いやなんか、文化がちょっと、違うんでまあ、そんなんだろうけどさ、

澤田 いや、でも、すみません。気を付けます。

澤田 うん。

澤田 でもじゃあ、本当に、本当にゴリラになるんすよね。

澤田 だからそだつて

澤田 不思議。

ひかる それはこっちのセリフだから。女がゴリラにならないって、え、ゴリラにならないってなに。

澤田 え。

ひかる どういう状態？

澤田 （ひかるを示して） こういう状態です。

ひかる 男より小さい。

澤田 わりとそうですね。いや、ひとによりますけど。

ひかる で、スカートを履いて

澤田 はい。

ひかる 化粧したり、髪のばしたり。

澤田 はい。

ひかる 気持ちわる！

澤田 だから 気持ち悪くないですよ！

ひかる だから だつてそういうのはさ、男がやるもんじやん。

澤田 そつちではそなんでしょうけど。

ひかる いやでも普通さ、自然界とかではそうでしょ、オスが着飾るのが普通でしょ。孔雀だつてライオンだつて、派手なのはオスのほうだし。

澤田 そんなことないですよ。オオハナインコとかタマシギとかナガサキアゲハとかはメスのほうが派手ですし。

ひかる ……そなんだ。

澤田 はい。

ひかる なんかデジャヴ。

澤田 え。

ひかる 好きだよね。そういうの。

澤田 まあ、そうですね。

ひかる 自然界の法則的にさ、こういうのないの、こういう、2つの世界が入れ替わるみた

いな。その対処法みたいな。

澤田 うーーん、まあ宇宙論みたいなのにはちょっと引っかかるかもしれないんですけど、よく知らないです。

ひかる 宇宙論？

澤田 パラレルワールド的な？

ひかる なんか聞いたことある。

澤田 や、でもゴリラの世界とかいいはじめたら、多分ちょっと、宇宙論とかでも、カバーしきれないと思います。

ひかる まあそうだよね。

澤田 はい。

ひかる や、でもさ、これさ、キスして入れ替わったんだつたらさ、もう一回キスしたら元にもどるんじゃないの。

澤田 あ、なんか、いまのすごい、先輩っぽいす。

澤田 すごい、シンプルな感じが

澤田 馬鹿にしてんの

澤田 してないです。すみません。

澤田 え、じやあする？

澤田 え…、あ、はい。

澤田 じやあ、どうぞ。

澤田 座るんすか。

澤田 うん。

澤田 ひかる

澤田 目つぶって。

澤田 はい。

ひかる、キスしようとする。

澤田、嫌がる。

澤田 ちょ、ちょ、ちょっと、

澤田 なに。

澤田 ちょっと…嫌つすね。

え。

澤田 なんか怖いす。

そう？

澤田 そうすね。なんか、待ってる間が、

ひかる あー、え？

澤田 あの、無言？みたいな。

ひかる なんか言つたほうがいいってこと。

澤田 いや、わかんないすけど。

ひかる いきますとか。

澤田 いきます？？

ひかる え。

澤田 いきます、はおかしくないですか。

ひかる いや、いきます、はないですね。

澤田 じゃあそつちはさ、何、どうやつたの。

澤田 え、僕はなんか、あ、ちょっと、こつちきてもらつて。

ひかる うん。

澤田 こういう、

ひかる あ、壁ドンか。

澤田 壁ドンはあるんすね。

ひかる あるある。流行つた。いいじyan。壁ドン。

澤田 あー、でもなんか、あんまり

ひかる あんまり？

澤田 嫌がつてたかも、みたいな？

澤田 え。

澤田 なんかちょっと強引にいつちやつたつていうのはあるんすけど、

ひかる うん。

澤田 でもそれは、そもそも先輩から、もうちょっと強引さが欲しいみたいなことを言わ

れたからなんすよね。男らしくしてほしいみたいな。

ゴリラらしい、みたいなことかな、多分。

澤田 あ、多分、はい。

ひかる なるほど。で、強引にゴリラらしく壁ドンした結果、

澤田 なんか、嫌そうで。

ひかる それはきついな。

澤田 そうつすよね。なんかもう、ちょっと、無理かもなーってなつてて

ひかる 無理かもって

澤田 だから、まあ

ひかる 別れるつてこと

澤田 いや別れたいわけじゃないんすよ。別れたいわけじゃないんですけど、でも、ちょ

つと、自信が

ひかる

いやいや、大丈夫だつて。なればいいじゃん。ゴリラらしく。なれるよ。

澤田

いやでも、

ひかる

まあ、わかるよ。わたしもまだゴリラになつてないから焦るけど。でもやっぱ、諦めたらダメじゃん。

澤田

先輩は、ゴリラになりたいんですか。

澤田

ひかるそりやあね。

澤田

ひかるなんですか

澤田

ひかるえ、まあ普通にかつこいいし、

澤田

かつこいいんすね。ゴリラは。

澤田

ひかるあとやっぱサッカーで不利だしね。ゴリラに混ざつてプレーするのは。

澤田

あれ？え、先輩ってプレイヤーなんですか

澤田

ひかるえ、うん。

澤田

ひかるえー、そうなんすね

澤田

ひかるえ？

澤田

ひかるいや、僕の世界の先輩はマネージャーなんで。

澤田

ひかるうそ。マネージャーやつてるの、わたし。

澤田

ひかるはい。

澤田

ひかるなんで？ケガとか？

澤田

ひかるあ、いや、高校になくて。女子サッカー部が。なんで、男子サッカー部のマネージャーについている。

澤田

ひかる男子サッカー部に女子マネージャー。

澤田

ひかるはい。中学まではサッカーやつて上手かったみたいなんで、勿体ないなと思うんですけどね。

澤田

ひかる男子サッカー部に女子マネージャーってさ、普通？

澤田

ひかるあ、うちには逆だからさ。

澤田

ひかるあ、女子サッカー部に

澤田

ひかる（澤田を示して）男子マネージャー。

澤田

ひかる僕マネージャーなんですね。

澤田

ひかるうん。あの、いいマネージャーだよ。すごく優秀。

澤田

ひかるそうなんすね。いや、ぼくマネジメントにも興味があつて、でも男子でマネージャーつてそんな多くないんで、なんか、あれだつたんですよ。そつか。

澤田

ひかるうん、なんか色々よく気が付くし、かわいいし、ゆうきがいると華やぐし、みんなの士気もあがるしね。

澤田

ひかる：なんか、そういう感じなんですね。

澤田

ひかるそういう感じ。ゆうきはほんとになんか、男の子つて感じだから、女だらけのむさ

くるしい中にひとりそういう子がいるとき、いいんだよね。癒されるし、やる気でるし、みたいな。

澤田 あの、先輩ってぼくのどういうところが好きなんですか。

ひかる えー。まあやつぱり、かわいいところだよね。あとやさしいし、男の子らしいところが、いいなっておもつてる。

澤田 そうなんすよねー。

ひかる え？

澤田 先輩そういうところあるんすよねー。

ひかる なになに。

澤田 あの、僕やっぱちょっと無理かもです。

ひかる なにが。

澤田 これから先輩とつきあっていくのが。

ひかる 別れたいってこと？

澤田 別れたいわけじゃないんですけど、でもちょっと自信が。

ひかる ゴリラらしくなれる自信？

澤田 大丈夫だよ。なれるよ。いまからでも全然、ゴリラらしくなれるし。

澤田 いやそうじゃなくて、別になりたくないんすよね。

ひかる え。

澤田 そのゴリラらしく？っていうものに、なりたくないんすよ。僕。あんまり。

澤田 ひかる え、なんで？

澤田 うーん、

ひかる うそそそ、ちょっと何、わかるように説明して。

澤田 なんていうんすかね。その、らしさ、みたいなものに価値をかんじてないっていう

か、

ひかる うん？？

澤田 たとえばなんですが、動物だと、メスらしさ、オースラしさ、というのはその種族にはかなり確固たる価値があるものじゃないですか。タテガミが長いのがオースラらしい、歌がうまいのがオスらしい、とか、羽根がキレイなのがメスらしい、いい匂いがするのがメスらしいとか。

ひかる うん。まあ、そうなんだね。

澤田 そうなんです。それはやっぱり本能とか習性とかいうもので、すごく固定された価

値なんだとおもんですけど、いわゆる人間の男らしさとか女らしさとかゴリラらしさとかって、おそらく本能っていうよりはかなり文化に基づいたものなんだと思うんですよね。だからぶっちゃけ後付けだし、簡単にかわっちやうし、いい加減じゃないですか。だから全然信用できないっていうのか。価値を信じられないんで

す。

ひかる
(わかんないなりに)う、うん、なるほど。そうなんだ。

澤田 そうなんすよ。でも先輩つて、結構大事にしてるじやないすか、この価値を。そのゴリラらしくありたいとか、男の子っぽいところがすきとか、男らしくしてほしいとか、そういうやつを。

ひかる まあそうかな。

澤田 ぼくも先輩の気持ちにはこたえたいとはおもうし、価値信じてなくとも擬態することはできるかもしないとおもって、頑張って壁ドンとかしてみたんですけど、

ひかる 嫌がられてしまった。

澤田 そうなんです。だし、僕も全然、たのしくなくて、擬態が。

ひかる あー…。
澤田 だからなんか、自信がないんす。これからやつていく自信が。

澤田 そうかあ。いやでも、えー、まつてよ。だつて、えー。

澤田 いやでも、僕の方はつてことなんで、はい。

澤田 ひかる いやいや、ていうかこつちもなんか、やばいんだよね。

澤田 え。
ひかる なんか、ヤバい感じなんだよ。

澤田 うまくいってないんすか。

澤田 ひかる うん。なんか、にこにこしてるんだけど、スンつてしてる感じがある。

澤田 スン…、
ひかる こう、スン…つて。

澤田 それ。ため込んでるかんじしますね。

澤田 ひかる なんでため込むんだよ。言つてよ。

澤田 そうすよね。いや、でも、言えないんすよ。

澤田 ひかる 何をため込んでるんだろう。

澤田 心当たりないんすか。

澤田 うーん、あれかなー、でもなー、
ひかる なんすか。

澤田 ひかる ゆうきが、結構痴女に遭うらしいんだけど、電車で。

澤田 ひかる 触られたりするんだって。ゴリラのおばさんに。

澤田 なんすかそれ。ゴリラが触つてつて…、めちゃくちゃ怖いじやないですか！！

ひかる そうだよね。そなだとおもう。ほんとに同じ女として許せないんだけどさ、そういうのマジで。

澤田 そうすよね。

ひかる そうなんだよ。

澤田 え、で？

ひかる ∵いや、で、その話をきいてから、くらいから、スンつてして、きが、する。

澤田 なんですか。

ひかる わかんないんだよね。

澤田 なんか、何喋ったんすか。

ひかる だから、許せないなって話と、気を付けてねつていう話。

澤田 具体的には？

ひかる えー、できるだけ送るよとか、あとスカートとか結構、短いからさ、もうちょっと長くしたら？とか、いった、かな。

澤田 あー……、

ひかる え、やっぱかった？

澤田 いや、え、わかんないすけど、僕たちスカート履かないじゃないですか。

澤田 うん。

澤田 電車で触られたりとかもないですよね。

澤田 うん。ない。

澤田 サッカーやつたことないひとに、「次の試合でバンバンシュートしたら点とれるんじゃない」とか言われたらむかつくじやないすか。

ひかる え、むかつく。だつてめつちや練習してるし、お前が考えてることくらいはこつちは100回くらい考えてから試合してつからつていう、……ていうことか。

澤田 なんじやないですかね。

ひかる ∵あれ、まつて、わたし最低じゃない？？

澤田 わりとやばいかもしねですね。

ひかる なんでそんなこといつちやつたんだろ。

澤田 なんでそんなこといつちやつたんすか。

ひかる 悪気はなかつたんだよ。全然。ただ力になりたいっていうか、彼女として、女として、まだゴリラじやないけどゴリラとして、ゆうきの力になりたかつたっていうか、

澤田 わかりますよ。わかりますけど、でもサッカーしたことない人が、力になりたいと思つて悪気なくアドバイスにきたら、

ひかる 痣めてんのかつて思う。

澤田 ですよね。

ひかる 痣めた真似をしてしまつた……。

澤田 かもですね。

ひかる 怒つてるかな。

澤田 怒つてるならいいんですけど、え。

澤田 スンつてなつてたらちよつと、やばいかもですね。

ひかる やばいつていうのは、別れたいみたいな、

澤田 かもです。

ひかる えーーー、

澤田 わかんないですよ。わかんないんですけど、決意してるかもしれないです。

ひかる うそ、どうしよう、どうしよう。

澤田 うーん。

間

ひかる もう駄目なのかな。

澤田 いや……。

ひかる 私は舐めた真似をしてしまったし、むこうの私も、ゆうきをすぐこまらせている

し、わたしたちはもうだめなのかな。

澤田 どうですかね。

ひかる ……せめてさ、せめて、そつちはどうにかならないの。

澤田 え、こっちですか？

ひかる むこうのわたしのことはわからないけど、わたしは、ゆうきのやさしい、気の付く、男の子らしいところも確かにいいなっておもつて。けど、だけど、なんか理屈っぽいところもすきだし、生物のことを色々話すところもいいなっておもうし、今のわたしは、この今のゆうきのそういう、私が考えてないことを色々考えてるところも、いいなっておもつてるから。だからたぶん、むこうのわたしも、ゴリラらしくないゆうきのことも、ちゃんと好きだと思う。

澤田 そうですかね。

ひかる 多分。だから、だからさ…、

澤田 …あの、僕も、向こうのぼくのことはわからないんですけど、でも僕は、先輩の、気持ちをちゃんとつたえてくれるところに救われてきたし、今も、この今の先輩の、悪いと思つたらすごい反省するシンプルとか、こうやって、まつすぐ言葉をぶつけてきてくれるところとか、いいなって思うんで、多分、大丈夫だとおもいます。

ひかる そうかな。

澤田 多分。

ひかる ありがとうございます。がんばる。

澤田 僕も、もうちょっと、がんばってみます。

ひかる うん。

澤田 えっと、じゃあ、してみましようか。

ひかる うん。

澤田 え、どうしよう。

ひかる あ、握手、していい？

澤田 あ、はい。

二人、握手する。

ひかる じやあ、せーの、でいきましょうか。

澤田 うん。

二人 せーの

幕